

### 第10回ヒストリックカーミーティングin舟形

6月9日、第10回ヒストリックカーミーティング(実行委員会会長高梨晃一さん)がアユパークで開催され、県内外から約15,000人が訪れ、にぎわいました。このイベントは、多くの人に町を知ってもらい、その良さを感じてもらおうことで、観光が活性化することを目的に平成24年度に始まり10回の節目を迎えました。ダットサンブルーバードなどの懐かしい国産車や、ポルシェなどの外車約150台が集まり、来場者を魅



了しました。体験試乗も行われ、抽選により選ばれた参加者がロールス・ロイスカリナンなど6台の憧れの名車への試乗を楽しみました。また、会場は舟形中学校吹奏楽部の演奏や、「LIAISON」、「Kentou」の演奏でノスタルジックな雰囲気に包まれました。ほかにも、来場した子どもたちにはじゃんけん大会が開催され、ミニカーがプレゼントされました。同時開催された町物産展では、特産品の鮎の塩焼きや鮎ご飯などに加え、キッチンカーも多数出店し、来場者は存分に楽しんでいました。

### 第2期専門職大学アパートの運営に

6月3日、町と櫛クリエイト礼文との、東北農林専門職大学民間アパートの第2期地区の建設と運営に関する連携事業協定締結式が行われました。昨年完成した学生と教職員18名が入居した第1期のアパートに続き、令和7〜9年入学予定者用のアパートを舟形字野々田地区に建設予定です。



### 一人ひとりの手できれいな町に

6月23日、町青少年推進員と高校生ボランティア「ふなっ子」、沖の原町内会のみなさんが舟形インターチェンジの清掃を行いました。また、推進員とふなっ子は舟形駅の清掃も行い、環境美化に貢献しました。参加した高校生は「町がさらにきれいになって良かった」と話していました。



### 町のさらなる発展に向けて

5月28日、中央公民館で第1回舟形町総合発展計画(後期短期アクションプラン)策定会議が開催されました。この会議は有識者10名とまちづくり審議会10名で構成され、町の行政目標を達成するための最上位計画である舟形町総合発展計画のうち後期短期アクションプランを策定します。



### 安全安心な地域づくりのため

6月19日、舟形若あゆ温泉で舟形町保護司会総会と最上地区保護司会第三分会総会が開催されました。令和5年度の事業報告や令和6年度の事業計画などを議事としました。また、第三分会総会の後半に新庄警察署生活安全課より「最上地域の安全に関して」の講演が行われました。



### 小野達子さん 長寿褒章



5月28日、今年数えて100歳を迎えられた小野達子さん(瀬脇)へ、町から長寿のお祝いが贈られました。小野さんは現在、舟形徳洲苑で暮らしていて、他の利用者さんと一緒に行事へ参加したり、趣味の読書を楽しみながら、元気に過ごされているそうです。この制度は、長寿を祝福するため数え100歳になった舟形町におおむね50年以上住んでいる方にお祝い金と賀詞を贈るものです。ますますのご長寿をお祈りします。

### アユパークで「ととのう」体験



5月25日、アユパークでテントを使ったサウナ体験が行われ、町内外から20名が参加しました。このイベントは、JR東日本と最上小国川清流未来振興機構(本部長 悪七幸喜さん)と町が主催となり、最上小国川の魅力を伝えるとともに、鉄道の利用拡大と沿線地域の活性化を目的として開催しました。定員3名とコンパクトな組立式のテントサウナ。参加者は汗をかいた後、最上小国川の冷水にかかることでクールダウンし、自然の中で「ととのう」体験を楽しみました。

### もがみ南部商工会の新しい舟形支部長



もがみ南部商工会舟形支部の新しい支部長に、信夫正己さん(洲崎)が就任しました。

### 小国川漁協の新しい代表理事組合長



小国川漁業協同組合の新しい代表理事組合長に伊藤欽一さん(内山)が就任しました。

### 舟形町から応援職員を派遣

5月27日から6月1日まで、舟形町地域整備課建設企画係課長補佐の八鍬幸仁が石川県志賀町に派遣され、被災住宅の被害認定業務にあたりました。



### 台湾東部沖地震被災地支援募金

町では、令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

**募金額 13,570円 (5月31日現在)**

### 能登半島地震被災地支援募金

町では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

**募金額 766,862円 (5月31日現在)**

▼問い合わせ/舟形町総務課総務係 ☎(32) 2111